

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年07月21日

計画の名称	折尾駅周辺地区における魅力あるまちづくりを支援するための道づくり												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	北九州市												
計画の目標	鉄道連続立体交差事業に伴い、街路の4車線化や駅南側の土地区画整理を実施することで、J R折尾駅周辺地域の快適かつ利便性を高め、魅力あるまちづくりを支援する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,840	A	3,840	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

計画の成果目標(定量的指標)				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H28末	H30末
1	交通渋滞の解消及び交通結節機能の強化、さらには、北九州市の西部地域の都市拠点として魅力あるまちづくりに向け、区画整理事業と並行しながら、鉄道の立体交差化、街路事業の4車線化を一体的にすることで、快適かつ利便性の高い市民生活を確保することが期待される。 駅周辺街路整備によるJ R折尾駅と周辺主要交差点との移動利便性向上を平均旅行速度により表現 一定地点間(7.3km)の所要時間/距離	21km/h	21km/h	24km/h

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	折尾青葉台線	L=0.5km	北九州市八幡西区	■	■	■	■	■	733	—	
	A01-002	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	区画	改築	折尾地区（（都）折尾東西線外）	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市	■	■	■	■	■	1,869	—	
	A01-003	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	区画	改築	折尾地区（（都）折尾駅南口線）	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市					■	140	—	
	A01-004	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	折尾南北線	L=0.4km	北九州市八幡西区			■	■	■	327	—	
	A01-005	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	折尾東西線	L=0.6km	北九州市八幡西区			■	■	■	373	—	
	A01-006	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	折尾堀川町線	L=0.1km	北九州市八幡西区			■	■		107	—	

A 基幹事業																													
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況										
												H26	H27	H28	H29	H30													
一体的に実施することにより期待される効果																													
備考																													
道路事業	A01-007	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	筑豊本線側道2号線	L=0.1km	北九州市八幡西区				■		291		—										
	A01-008	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	筑豊本線側道3号線	L=0.1km	北九州市八幡西区				■	■	0		—										
										小計							3,840												
											合計							3,840											

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
【実施体制】 北九州市建築都市局折尾総合整備事務所事業調整課が事後評価を実施 【評価値の確認方法】 学識経験者に意見聴取を実施（九州共立大学経済学部成富教授、九州工業大学工学部寺町准教授）	令和3年度
	公表の方法 北九州市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	折尾青葉台線（折尾中間線含む）や折尾東西線において、予定していた箇所の供用ができなかったため、指標としての効果発現が見られないが、用地買収等に合わせ工事を進めており、着実に事業進捗している。 指標（数字）として効果発現は見られないが、今後、折尾青葉台線（折尾中間線含む）の4車線化や折尾東西線等の整備が進むことで、駅付近での交通環境は確実に改善していく。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	車道の共用は行っていないが、部分的ではあるものの、広幅員の歩道整備は着実に進んでおり、駅周辺の歩行快適性が格段に向上している。

○特記事項（今後の方針等）

土地区画整理事業や折尾青葉台線（折尾中間線含む）等の街路事業は指標（数字）としては効果発現が見られないものの、用地買収等に合わせ、工事を進めており、着実に事業進捗している。  
また、学識経験者の意見聴取を実施する中で、「事後評価の内容は妥当である、今後も地域との関係を維持しながら着実に事業を進捗させていただきたい」との意見をいただいた。  
今後、連続立体交差事業の完了に伴い、整備を加速化することができることから、J R折尾駅周辺地区の快適性や利便性を向上させるため、次期整備計画においても、事業進捗を高めていきたい。  
また、側道等の整備により、高架下開発を活性化させ、折尾駅周辺地区の生活利便性の向上や賑わいを創出していきたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	平均旅行速度の向上	
	最終目標値	24km/h
	最終実績値	21km/h
		折尾青葉台線（学園大通り）や折尾東西線において予定していた箇所の供用ができていないために指標としての効果が発現していない。

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

